

古賀市立古賀東中学校 令和4年5月9日(月)発行
校長 柴田 重法

3年生 141名
2年生 100名
1年生 138名
全校 379名

東風の卯月
学校通信4号 その3

回覧用

あたたかい雰囲気の中で授業を！

1年生の英語の授業で、欠席生徒の机の上にプリントが置いてあったそうです。大里先生が、「休みの人のプリントは机に入れてあげて」と言おうとしたそうですが、気づいてくれる生徒がいるかも知れないと思言われないでいると、隣の生徒がサッと立ち、プリントを揃えて丁寧に机の中に入れてくれたそうです。気づき「あっ、プリントがのっとう」→考え「入れてあげた方がいいよね」→行動する「プリントを揃えて丁寧に入れる」場面でした。その後、大里先生はその生徒の行動を具体的に述べて、「ありがとう」と言って(発信して)くれました。

教科書配付

新しい教科書が配付されるにあたって、義務教育において無償で配付されるようになるまでの歴史について各学年で学習しました。



4月11日(月)

発育測定

個人の差はありますが、中学生の時期は発育が大きい時期です。規則正しい生活で成長を促してください。廊下に整然と並べられた靴を見て感心しました。



給食開始

1年生は入学後2日目から給食開始となりました準備の仕方を3年生の先輩方が指導してくれました。手は出さず、説明しながらしっかりと見守ってくれました。



黙動清掃

掃除を始める前に黙想して気持ちを落ち着かせます。放送の合図で黙って自分の役割を考えながら、黙々と丁寧に清掃していきます。



新入生代表の言葉



新入生代表
安東 颯音

中学校の3年間で、様々な困難や壁にぶつかることがあるかと思いますが、先輩方、先生方にご指導いただいて、充実した中学校生活にしたいと思言います。私たちは右も左もわからない状況ですが、一生懸命に学びたいと思言います。先輩方、温かい目で見守っていただき、ご指導くださいますようお願いいたします。

4月13日(水)
対面式

この3年間で皆さんには何かしら上手くいかない時期が訪れると思言います。それは僕たち2・3年生でも同じことです。そういう時期は、決して無理をせず、焦らないでください。友だちや先生方の力を借りながら、うまくいかない時期をチャンスと捉え、一歩ずつ成長してほしいと思言います。同じ仲間として、共に乗り越えていきましょう。

在校生代表の言葉



生徒会長
竹田 亮

4月23日(土) ブロック結団式



3年生のリーダーシップのもと、異年齢集団で一年間様々な行事や委員会活動を行う、ブロックでの活動をスタートする結団式を行ないました。お互いを知るために、異年齢の少人数グループで謎解きクイズを解きながら関係づくりを行いました。少し不安な1年生も、2年生や3年生と一緒に謎解きをすることで、先輩や先生方としての意識が高まっていたようです。その後、「リーダーだけでは活動ができない。」「ブロックのみなさんと一緒にがんばろう!」とリーダーの決意表明をして結団式が行われ、25日(月)からの体育会練習に臨みます。ブロック活動を通してみなさんの絆が深まり、成長していく姿が楽しみです。



4月27日(水) 第1回全校練習

僕は皆さんに伝えたいことがあります。それは練習を大切にしてほしいということです。皆さんの中には、体育会に意欲的な人、意欲はあるけどがんばることに少し恥ずかしい人、あまり意欲がもてないという人、様々な人たちがいると思言います。意欲がもてない人は、気が乗らないこともがんばる力をこの体育会期間で育ててほしいです。この先皆さんはきっと気が乗らなくてもがんばらないといけないことが来ます。そんな時にがんばれる人は、こういう普段の生活での努力が実を結んでいるのだと思言います。がんばるということは、いつ、どんな形で報われるか分かりません。小さな積み重ねを信じて友だちと一緒にがんばってください。そして意欲に関しては僕たちリーダーが引き出します。意欲はあるけど、がんばることや目立つことが少し恥ずかしいという人たちに言いたいことは、「自信をもってほしい」ということです。周りの人の目や失敗は気にせず100%の力を出すことで、より本番のレベルアップにつながると思言います。意欲がある人は、ぜひその姿勢で続けてほしいと思言います。皆さんの姿勢はお手本となり、良い雰囲気づくりにもつながっています。このような人が特に3年生に増えてほしいです。

生徒会長 竹田 亮

23日のブロック結団式では、ブロックリーダーの人たちの丁寧な説明や的確な指示ができるリーダーシップに感心しました。そして、ブロックリーダーの話を真剣に聞いて一体的に行動できているブロック員のみなさんのフォロワーシップにも感心しました。体育会当日、みなさんがどのような姿を見せてくれるのか、とても楽しみにしています。生徒会長の竹田さんが述べたように、限られた練習を大切にしてください。一つ一つの演技や競技をより良いものとして創り上げるためには、一人一人が意識を高くもつ必要があります。わかりやすい言葉で言えば、「やる時はやる」「嫌だと思ってもやる」。そのためには、人の失敗を笑う人はいないと思言いますが、一生懸命にやっている人を見習い、それ以上に自分自身ががんばろうと取り組むことが大切です。体育会を成功させるためにも、事故やケガがないように「気づき」を大切に「行動」してください。

4月27日(水) 部活動生集会

始業式から3週間が経ちました。授業をはじめ、生徒会活動や体育会に向けての取り組みも本格的に始まりました。そして、部活動体験入部期間が終了して令和4年度の部活動生徒がここに揃い、今日から古賀東中学校の新たな学校生活のスタートとなります。2週間前に行われた、部活動紹介の時にも1年生には伝えましたが、改めてみなさんに「部活動に取り組む3つの良さ」を述べたいと思言います。1つは、いろんな人と関係を築くために必要なコミュニケーション力を身につけられること。2つは、我慢して辛抱強くやり抜く力を身につけられること。3つは、自分やチームの目標を達成するために取り組んだ結果を得られること。部活動をとおして学んだことは、今後の学習につながるはず。そして、社会でいろんな人と関わる力を高めるなど、君たちの成長に大きなプラスとなります。次に部活動を行う上で心にとめてほしいことが2つあります。1つは、文武両道という意識をもって取り組むことです。授業の時間、部活動の時間、家庭での学習の時間にメリハリをつけて、集中して「わかる」「できる」ようになろうと集中して取り組むことです。2つは、部として校外で活動する時は、一人一人が古賀東中学校の広告塔であることを意識することです。本校の関係者以外は、君たちを「〇〇さん」と、個別では見ません。君たちが着用しているユニホームや体操服などを見て、「古賀東中学校は…」と見てとられます。ですから、一人の行為が良くも悪くも「古賀東中学校の生徒は…どうだった。」と評価されます。日頃の東風魂四訓を胸に、学校の誇りをもって活動に臨んでください。部活動においても良き伝統を残し、後輩たちに受け継いでもらえるような活動を期待しています。これから中体連に向けての練習に力が入ると思言いますが、コロナ対策、熱中症対策をしっかりと行って、安全で充実した活動が結果に結びつくように期待しています。

